

第2次嘉麻市環境基本計画 **概要版**

～豊かな自然と共生する遠賀川源流の心やすらぐまち～

2021（令和3）年3月 策定

2026（令和8）年3月 見直し



計画策定の背景と目的

嘉麻市では、河川の水質汚濁、生物多様性の危機、ごみ問題、地球温暖化など環境に関する問題を解決し、次世代によりよい環境を残すため、2011（平成23）年3月に「嘉麻市環境基本計画」を策定し、環境保全の取組を進めてきました。

一方で、全国的に記録的な猛暑や集中豪雨をはじめとする異常気象が頻発し、地球温暖化による気候変動の影響が身近なものになっています。その他にも「マイクロプラスチック問題*」等、新たな環境問題も顕在化してきています。

著しく変化を見せる環境問題に対応するとともに、近年の本市を取り巻く情勢や地域特性に応じた取組をこれまで以上に総合的かつ計画的に進めるため、「第2次嘉麻市環境基本計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

*ポイ捨てされたプラスチック等が川や海を流れる間に小さくなり、海の生物に影響を与える問題。

計画の位置付け

本計画は、本市の環境に関する関連計画の最上位に位置付けられます。また、本計画の地球温暖化対策及び循環型社会の構築に関する部分は「嘉麻市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」として、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定される地方公共団体実行計画に位置付けます。

計画期間と目標年度

本計画の期間は、2021（令和3）年度からの10年間とし、目標年度は、2030（令和12）年度とします。また、2025（令和7）年度に本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、科学技術の進展などを踏まえ、計画内容の見直しを行いました。

計画の推進体制

本市が目指す環境像の実現を最終目的として本計画の着実な推進を図るためには、市民・事業者・市がそれぞれの立場でお互いの役割を理解するとともに、自らできること、取り組むべきことを自覚して行動することが重要となります。

本計画の円滑な運用管理を行うため、庁内各部局の代表者で構成される「嘉麻市環境基本計画策定推進委員会」を設置し、本計画の進行状況や見直すべき事項などについてのデータ把握と調整を行います。

また、事務局が中心となって計画の進行管理を行い、計画の推進に反映していきます。

一方、市民・事業者などに対しても情報提供を行うとともに、必要に応じて意見を募り、計画の推進における市民参加を図ります。

環境像を実現するための施策体系

本計画では、脱炭素社会・循環型社会の構築に関する分野を「嘉麻市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に位置付けます。その他の施策分野は、国及び県の環境基本計画を踏まえ以下のとおりとします。

また、各基本目標には、関連する SDGs のアイコンを示しています。SDGs は 2015（平成 27）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030（令和 12）年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

基本目標	取組	
基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	1 自然資源を活かした地域づくりの推進 2 環境を考えて行動する人づくりの推進
	11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう	1 生物多様性の保全 2 生物多様性の持続可能な利用
基本目標 2 自然と共生するまち	6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう	1 大気・音環境の保全 2 水環境の保全 3 身近な住環境の保全
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう	1 再生可能エネルギーの利用促進 2 市民・事業者の排出抑制活動の促進 3 吸収源対策と適応策の推進 4 循環型社会の形成

基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

1 自然資源を活かした地域づくりの推進

取組の方針

NPO や活動団体が行う地域づくりの活動を支援するとともに、地域の自然を活用した地域づくりを進めます。

市の取組

- NPO や活動団体の情報提供・連携等のネットワーク構築
- 地域リーダーの育成推進

など

指標・目標

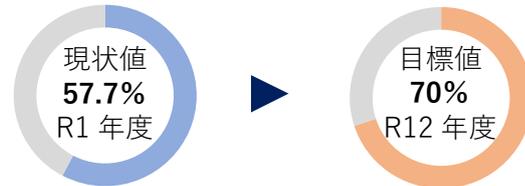
- 市民提案型事業補助金を活用した団体数



- 環境イベント参加者数



- 地域の環境に関する活動に参加している市民の割合



山田川クリーン作戦

2 環境を考えて行動する人づくりの推進

取組の方針

学校や地域で実施されている環境教育・環境学習を支援するとともに、地域の課題について考え、解決に向けて行動する力を育むような人づくりを進めます。

市の取組

- 人と自然が共存する環境教育の推進
- 「持続可能な開発のための教育（ESD*）」の推進

など

* 環境問題をはじめとした世界中の問題解決に繋がる考え方や、行動を身に付けることを目的とした教育。

指標・目標

- 市内の公民館施設で開催される講座数



- 次世代を担う子どもへの環境教育に対する市民満足度



小学校での環境学習



ふるさと探検隊 沢のぼり体験

基本目標 2 自然と共生するまち

1 生物多様性の保全

取組の方針

有害鳥獣*や外来生物による生態系への影響の緩和、農林業の担い手の育成に取り組み、生物の生息・生育環境を維持します。また、生物多様性への理解を促進するとともに、生物多様性の保全に取り組む人材の育成に取り組みます。

* 田畑を荒らす野生の鳥や動物の総称。イノシシ・シカ・アライグマ等が当てはまる。近年は、これらの動物の生息域が人間社会の近くにまで広がっており、人間に対して危害を加えるケースが出てきている。

市の取組

- 生物の生息・生育環境の保全
- 生物多様性の理解促進 など

指標・目標

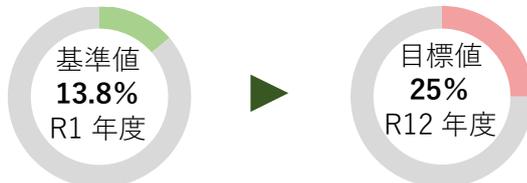
- シカによる被害金額



- 耕作放棄地率



- 生物多様性の市民認知度



古処山・屏山・馬見山



古処山ツゲの原始林

2 生物多様性の持続可能な利用

取組の方針

生物多様性を基盤とする生態系に支えられた、農地や森林がもつ多面的機能に対する市民・事業者の理解を深めるとともに、生物多様性の持続可能な利用を推進します。

市の取組

- 農山村地域の多面的機能の理解促進
- 地場産食材の利用推進 など

指標・目標

- 自然とのふれあいの場の確保に対する市民満足度



遠賀川の源流

- 学校給食における地場産食材の利用率



古処山キャンプ村「遊人の杜」

基本目標 3 快適な生活が営めるまち

1 大気・音環境の保全

取組の方針

大気環境及び騒音・振動の状況把握に努めるとともに、発生源対策や道路交通対策により、良好な大気・音環境を確保します。

市の取組

- 利便性の高い交通環境の構築
- 悪臭や騒音・振動の発生源対策 など

指標・目標

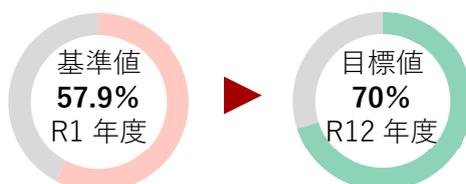


嘉麻市バス

■ 静けさに対する市民満足度



■ 空気のさわやかさに対する市民満足度



2 水環境の保全

取組の方針

水環境の現状把握に努めるとともに、生活排水・工場排水の適正処理や森林、水田の保全を推進することで良好な水環境の維持に努めます。

市の取組

- 河川の水質保全
- 森林（もり）づくり基本計画の推進 など
- 遠賀川における BOD*測定値

指標・目標



*BOD（生物化学的酸素要求量）：水中有機物を好気性細菌が酸化分解するのに要する酸素量であり、代表的な河川の水質指標として用いる。値が高いほど、汚濁度が高いことを示す。

■ 污水处理人口普及率



■ 荒廃森林整備率



3 身近な住環境の保全

取組の方針

快適な住環境を保全するため、市民・事業者による周辺環境や公園等の環境美化活動を促進するとともに、空家・空地問題への対策や情報発信に努めます。

市の取組

- 環境美化意識の高揚
- 空家（特定空家）対策 など

指標・目標



■ 公園や緑地整備の取組に対する市民満足度



基本目標4 脱炭素を実現するまち・資源が循環するまち (嘉麻市地球温暖化対策実行計画 区域施策編)

温室効果ガス排出量の削減目標

国や福岡県では、2030（令和12）年度までに「温室効果ガス排出量を2013（平成25）年度比で46%削減」、2050（令和32）年までに「カーボンニュートラルの達成」を掲げています。

本市においても、国や福岡県の削減目標を踏まえて削減目標を設定し、市民・事業者・市が一丸となって目標達成に向けた取組を推進していきます。

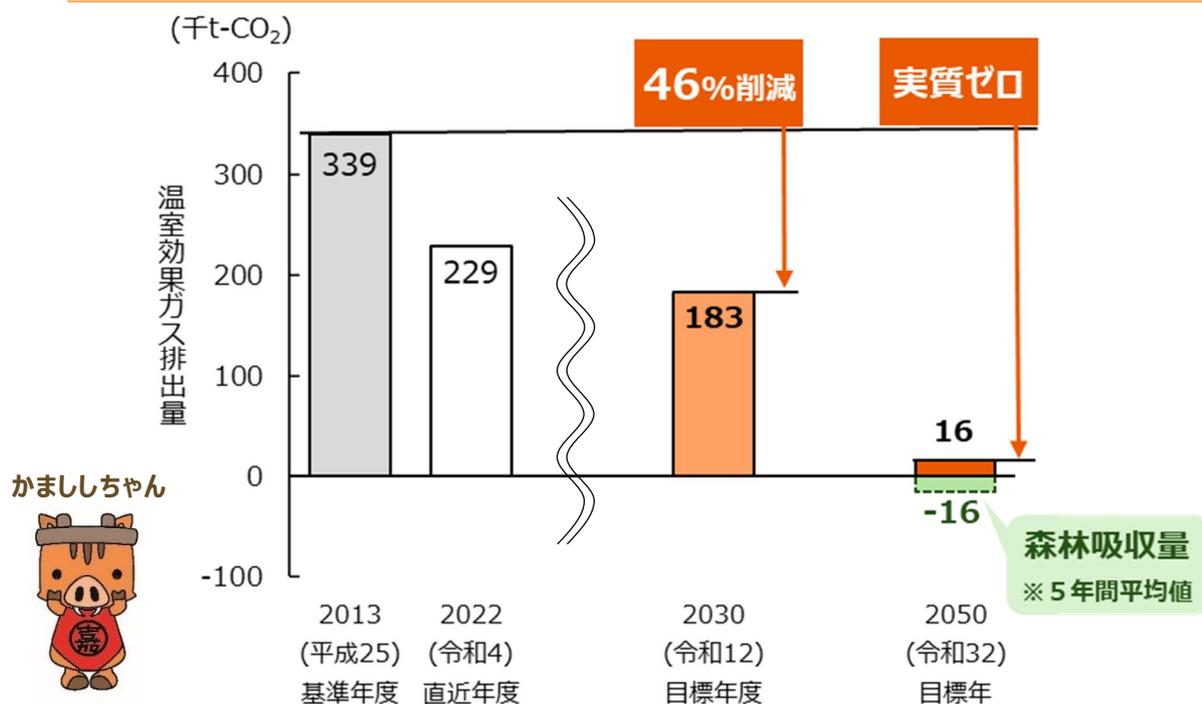
温室効果ガス排出量削減目標

2030（令和12）年度

2013（平成25）年度比で**46%削減**

2050（令和32）年

カーボンニュートラル（二酸化炭素排出量実質ゼロ）を目指す



1 再生可能エネルギーの利用促進

取組の方針

太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を積極的に進めるとともに、事業所における再生可能エネルギーの活用を促進します。

市の取組

- 公共施設への再生可能エネルギーの導入
- 未利用資源の活用 など

指標・目標

- 太陽光発電設備（10kW未満）の導入容量



2 市民・事業者の排出抑制活動の促進

取組の方針

事業所における省エネルギーの取組を支援するとともに、家庭における省エネルギーを促進します。

市の取組

- 省エネに関する情報発信
- 市の事務事業における省エネの推進 など

指標・目標

- 省エネに取り組んでいる事業所の割合



- 市域から排出される温室効果ガス (CO₂) 排出量



- 市の事務事業に伴い排出される温室効果ガス排出量



3 吸収源対策と適応策の推進

取組の方針

森林の適切な管理や都市の緑化推進により、二酸化炭素の吸収源を確保します。さらに、地球温暖化の影響を回避・軽減するための適応策を実施します。

市の取組

- 吸収源対策の推進
- 防災減災体制の強化 など

指標・目標

- 森林整備率



- 自主防災組織の組織率



4 循環型社会の形成

取組の方針

ごみの減量、3R の推進、不法投棄の防止に取り組むとともに、「マイクロプラスチック問題」や「食品ロス*」などの新たな環境問題に取り組みます。

* 売れ残りや期限切れの食品、食べ残りなど、本来食べられるのに廃棄されている食品のこと。

市の取組

- ごみの減量化・リサイクルの推進
- 食品ロスの削減 など

指標・目標

- 1人1日当たりのごみ総排出量



市民の取組例

基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

- NPO や活動団体との情報交換や交流を深め、活動を活性化させましょう。
- 市民提案型事業補助金等を活用し、積極的に地域づくりへ参加しましょう。
- 地域リーダーとして、地域で活動しましょう。
- 市や民間団体などが開催する環境に関するイベントに参加しましょう。
- 自然体験学習会や講演会などに参加しましょう。

など



基本目標 2 自然と共生するまち

- 生態系に影響を及ぼす外来生物を野外へ遺棄・放逐・植栽しないようにしましょう。
- 犬や猫などのペットの残り餌を放置しないようにしましょう。
- 環境保全活動や生物の保護活動に進んで参加しましょう。
- 生物多様性が人々の生活と密接に関わっていることを認識しましょう。
- 地場産の食材を意識して購入し、地産地消に取り組みましょう。

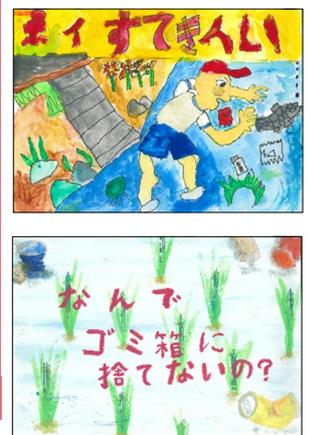
など



基本目標 3 快適な生活が営めるまち

- テレビ・楽器の音やペットの鳴き声など近隣に迷惑をかけないように気をつけましょう。
- 合併処理浄化槽を設置し、適切な維持管理に努めましょう。
- 家庭でできる生活排水対策を実践しましょう。
- 不法投棄をしないようにしましょう。
- 所有地は適切に管理し、雑草や樹木が繁茂しないように努めましょう。

など



基本目標 4 脱炭素を実現するまち・資源が循環するまち

- 各支援制度を活用し、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入に努めましょう。
- 家電製品の購入・買い替えの際は、省エネ型の製品を選択しましょう。
- 森林や身近な緑地の保全活動に積極的に参加しましょう。
- リサイクルできる商品や詰め替えできる商品を買きましょう
- 食材の使い切りや食べ残しをしないなどの食品ロス削減に向けた取組を実践しましょう。

など



事業者の取組例

基本目標 1 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

- NPO や活動団体との情報交換や交流を深め、活動を活性化させましょう。
- 従業員に対して環境教育を実施しましょう。
- 施設見学の受け入れなど、市民に環境教育・環境学習の機会を提供しましょう。 など

基本目標 2 自然と共生するまち

- 事業所や工場周辺の自然環境や生物の生息・生育環境に配慮しましょう。
- 自然とふれあう機会や場の提供に努めましょう。
- 地場産の食材を活用し、地産地消に取り組みましょう。 など

基本目標 3 快適な生活が営めるまち

- 悪臭の防止対策に努めましょう。
- 工場排水は適正に処理し、処理施設の維持管理に努めましょう。
- 所有地は適切に管理し、雑草や樹木が繁茂しないように努めましょう。 など

基本目標 4 脱炭素を実現するまち・資源が循環するまち

- 各支援制度を活用し、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入に努めましょう。
- 機器更新や新規導入の場合は、エネルギー効率の良い製品を選びましょう。
- 事業所敷地及び建物の緑化に努めましょう。
- 製造・販売方法を見直し、食品ロスを削減しましょう。 など

重点施策

1 環境美化の推進

取組の方針

地域や NPO、活動団体が実施する環境美化活動や清掃活動を支援します。また、あらゆる世代の市民や事業者の参加を促進し、環境美化に対する意識の向上を図ることで、ポイ捨てや不法投棄がなく、公園や花壇が整備された美しいまちを目指します。

2 安心・安全な生活環境の構築

取組の方針

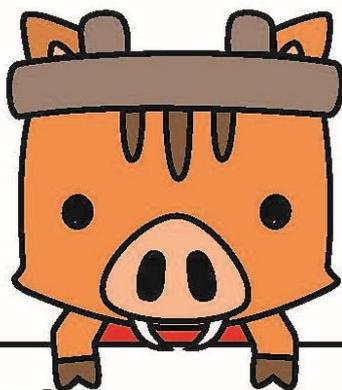
防災・減災に取り組む体制の構築や適正に管理されていない空家・空地対策に取り組むことで、住みやすいまちを目指します。

3 地域資源と人材の活用

取組の方針

地域資源の活用、市民・事業者等の自主的な地域づくり活動を促進することで、賑わいのあるまちを目指します。

かましちゃん



【発行元】

嘉麻市 環境課 環境衛生係

〒820-0292

嘉麻市岩崎 1180 番地 1

TEL : 0948-42-7428

FAX : 0948-42-7093